

# 管内の百名山

## たかつまやま 「高妻山」



乙妻山から望む高妻山



山頂部の十阿弥陀と青銅鏡

草原が広がる牧場を抜け、溪流沿いのゆるやかな道を進むと徐々に勾配が増し、不動滝のある帯岩にぶつかります。さらに登り、避難小屋の建つ一不動を経て、五地藏山まで断崖を進みます。

五地藏山から先はアップダウンのある苦しい行程で、稜線直下の急登を登り切ると、ほどなく山頂へと辿り着きます。

豪雪地帯のため高山植物が豊富で、シラネアオイ、ハクサンシャジン、ヒメクモマグサなどが楽しめます。

上越森林管理署では、この高妻山をはじめとする豊かな自然を有する国有林を後世に伝えるため、登山者へのマナー向上の呼びかけや森林の保全管理活動を行っています。

高妻山（標高 2,353 ㍎）は、長野県北部の戸隠連峰の最高峰で、ピラミダル（ピラミッドのように角錐をなすさま。）な姿から戸隠富士とも呼ばれています。

高妻山は、新潟県妙高市と長野県長野市に跨がり五地藏山から高妻山山頂に至るまでの稜線が関東森林管理局と中部森林管理局の境界になっています。

高妻山は山岳密教（平安時代に起こった真言宗、天台宗などの宗派）の山伏と呼ばれる修行僧が入った山のひとつで、その名残が地名として小さな石仏とともに残っています。

高妻山の一不動がそれで、二釈迦、三文殊、四普賢、五地藏、六弥勒、七観音、八薬師、九勢至と続き、十阿弥陀で山頂に到着します。

登山ルートは、長野県戸隠キャンプ場から一不動を経て高妻山に登るものだけで、往復には9時間前後かかり、日本百名山中でも長行の山のひとつです。



岩肌の横断



シラネアオイ